



## LDAP プロファイル

---

LDAP プロファイルのウィンドウを使用して、LDAP のディレクトリ情報、LDAP の検索コンテキスト情報、LDAP サーバの情報、およびプロファイルに関連付けられるユーザなどを設定します。このウィンドウを使用して特定のプロファイルを検索し、個々の設定値を変更できます。

## LDAP プロファイルの検索

ネットワークに複数の LDAP プロファイルが存在する場合がありますため、Cisco Unified Presence Server では、具体的な検索条件に基づいて特定の LDAP プロファイルを検索することができます。特定の LDAP プロファイルを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアントマシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻る、あるいは、ブラウザを閉じてから新しいブラウザウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence Server の検索の設定がシステムで維持されます。

### 手順

**ステップ 1** [アプリケーション]>[Unified Personal Communicator]>[LDAP プロファイル]の順に選択します。

[LDAP プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Ldap Profiles)] ウィンドウが表示されます。ドロップダウンリストボックスを使用して LDAP プロファイルを検索します。

**ステップ 2** 最初のドロップダウンリストボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- 名前
- 説明

**ステップ 3** 2 番目のドロップダウンリストボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- が次の文字列で始まる
- が次の文字列を含む
- が次の文字列と等しい
- が次の文字列で終わる
- が空である
- が空ではない

**ステップ 4** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。



ヒント

データベースに登録されているすべての LDAP プロファイルを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出された LDAP プロファイルのリストが表示されます。

**ステップ 5** レコードのリストから、検索条件に一致する LDAP プロファイルをクリックします。

選択した LDAP プロファイルがウィンドウに表示されます。

### 追加情報

P.32-6 の「関連項目」を参照してください。

## LDAP プロファイルの設定

この項では、Cisco Unified Presence Server データベースで、LDAP プロファイルを追加または更新する方法について説明します。

### 手順

**ステップ 1** 次のいずれかのタスクを実行します。

- LDAP プロファイルを追加するには、[アプリケーション] > [Unified Personal Communicator] > [LDAP プロファイル] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- LDAP プロファイルを更新するには、P.32-2 の「LDAP プロファイルの検索」の手順に従ってプロファイルを検索します。

[LDAP プロファイルの設定 (LDAP Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 表 32-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

**ステップ 3** 読み取り専用アクセスでの匿名ログインをユーザに許可するには、[Anonymous バインド (Anonymous Bind)] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 4** 検索ベースで始まるディレクトリの再帰検索を実行するには、[再帰検索 (Recursive Search)] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 5** ユーザと LDAP プロファイルを関連付けるには、[プロフィールにユーザを追加] をクリックします。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** 最初のドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- 名
- ミドルネーム
- 姓
- ユーザ ID
- 部署名

**ステップ 7** 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- が次の文字列で始まる
- が次の文字列を含む
- が次の文字列と等しい
- が次の文字列で終わる
- が空である
- が空ではない

**ステップ 8** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**[検索]** をクリックします。



**ヒント** データベースに登録されているすべてのユーザを検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

検出されたユーザのリストが表示されます。

**ステップ 9** レコードのリストから、LDAP プロファイルに追加するユーザをクリックするか、または **[すべてを選択]** をクリックします。

**ステップ 10** ユーザを LDAP プロファイルへ追加するには、**[選択項目の追加]** をクリックします。

**ステップ 11** [ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウで **[閉じる]** をクリックします。

**ステップ 12** データを保存して LDAP プロファイルをデータベース プロファイルに追加するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される **[保存]** アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される **[保存]** ボタンをクリックします)。

---

#### 追加情報

P.32-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## LDAP プロファイルの設定値

表 32-1 で、LDAP プロファイルの設定パラメータについて説明します。関連する手順については、P.32-6 の「関連項目」を参照してください。

表 32-1 LDAP プロファイルの設定パラメータ

フィールド	説明
<b>LDAP プロファイル情報 (LDAP Profile Information)</b>	
名前	このパラメータは、LDAP プロファイルの名前を指定します。 最大文字数：128
説明	このパラメータは、LDAP プロファイルの一般的な説明を示します。 最大文字数：128
<b>LDAP ディレクトリ情報 (LDAP Directory Information)</b>	
識別名 (DN) をバインド (Bind Distinguished Name(DN))	このパラメータは、管理者レベルのアカウント情報を <i>useraccount@domain.com</i> の形式で指定します。これは、認証済みバインドに対する識別名 (DN) です。 最大文字数：128
パスワード (Password)	このパラメータは、LDAP 管理者のユーザ名に対するパスワードを指定します。 最大文字数：128
パスワードの確認 (Confirm Password、半角英数のみ)	このパラメータは、LDAP 管理者のユーザ名に対するパスワードを確認します。 最大文字数：128
Anonymous バインド (Anonymous Bind)	[Anonymous バインド (Anonymous Bind)] チェックボックスをオンにすると、ユーザはこの LDAP サーバに読み取り専用アクセスで匿名ログインできます。ユーザの資格情報を使用して LDAP サーバにログインするには、このチェックボックスをオフにします。
<b>LDAP 検索コンテキスト情報 (LDAP Search Context Information)</b>	
検索コンテキスト (Search Context)	このパラメータは、すべての LDAP ユーザが存在する場所を、コンテナまたはディレクトリで指定します。 最大文字数：128
再帰検索 (Recursive Search)	検索ベースで始まるディレクトリの再帰検索を実行するには、[再帰検索 (Recursive Search)] チェックボックスをオンにします。
<b>LDAP サーバ情報 (LDAP Server Information)</b>	
プライマリ LDAP サーバ (Primary Ldap Server)	このパラメータは、プライマリ LDAP サーバを指定します。ドロップダウンリストで、定義済みの LDAP サーバから選択できます。
バックアップ LDAP サーバ (Backup Ldap Server)	このパラメータは、バックアップ LDAP サーバを指定します。ドロップダウンリストで、定義済みの LDAP サーバから選択できます。バックアップ LDAP サーバは 2 つ指定できます。

## LDAP プロファイルの削除

この項では、LDAP プロファイルの削除方法を説明します。

### 手順

- 
- ステップ 1** [P.32-2 の「LDAP プロファイルの検索」](#) の手順に従い LDAP プロファイルを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する LDAP プロファイルを選択します。
- ステップ 3** プロファイルを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される **[選択項目の削除]** アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される **[選択項目の削除]** ボタンをクリックします）。

LDAP プロファイルが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence Server により、その LDAP プロファイルが削除されます。LDAP プロファイルが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

---

### 追加情報

[P.32-6 の「関連項目」](#) を参照してください。

## 関連項目

- [LDAP プロファイルの検索 \(P.32-2\)](#)
- [LDAP プロファイルの設定 \(P.32-3\)](#)
- [LDAP プロファイルの削除 \(P.32-6\)](#)